

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 7
No.275

“株式会社イナテック鳥取” 竣工

皆さんの努力のお蔭で、イナテック鳥取が操業開始いたしました。イナテックグループの中で本格的な生産拠点としては、中国浙江省の“イナテック平湖”に次ぐものです。

イナテック平湖を無事立ち上げていただいた自信が、イナテック鳥取の設立を決断した理由の一つでもあります。

6月17日の竣工式には、鳥取県平井知事はじめ、鳥取市深澤市長他、鳥取各地の皆様、愛知県からは常日頃お世話になっている皆様にご列席いただきました。合わせて110名の方々にお越しいただきました。その時の挨拶を抜粋して記します。

「イナテック鳥取は、この地域における製造拠点としてだけではなく、アイシンAW様に安定して製品を納入し続けるためのBCP、つまり、事業継続計画拠点としての役割も担っております。

二宮尊徳は『人間が働くのは、ただ自分のために働くのではなく、周りの人のために働かねばならぬ』と報徳の理念を説いています。

それにならない、イナテック鳥取の使命は、“お客様に100%の良品をお届けして喜んでいただくこと”です。

私たちは日々の仕事を通して人間性や技術力を高め、より良い製品を作る企業を目指します。そしてお客様にはもちろん、地域の皆様、社員のご家族様にも喜んでいただき、地元の優良企業をめざし、雇用と地域の発展に貢献したいと思っています。」

また、披露宴でも

「二宮尊徳は、『国を豊かにするには、食糧を節約するという考えではなく、農業を奨励して米を増産する前向きな考え方で行うべきだ』と言われました。労働力を増やせば土地が開け、農産物も増える。農産物が増えれば、商

業も工業も盛んになる。つまり、『たくさん食べ、一生懸命働けば、国が豊かになる』ということですよ。」

という挨拶をさせていただきました。

イナテック鳥取を設立したおかげで、“人財”の確保や土地の取得に悩む事はなくなりました。これからは、じつくりと腰をすえて経営戦略を立て、“人財”育成と技術向上に力を注ぎ、実を残すことだと思っています。

イナテック100周年(2051年)を目指し、2051年からの101年目以降のためにも、今から基盤のしっかりしたイナテックを育成してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

第23回イナテック安全大会

平成28年度の全国安全週間のスローガンは、「見えますか？」

あなたのまわりの見えない危険
みんなで見つける安全管理」
です。

今回の講話でも「安全とTPM」の関係について説明させていただきました。

TPMの目的は、

・製造設備に強い人づくり

・製品に強い人づくり

です。

事務間接の人たちも製造設備に製品に強くなつてください。

全ての人たちが製造設備に強くなれば、「災害」は起らないはずで、我々の最優先事項は「絶対に災害を起こさない、起こさせない」ことです。

また、「故障」とは、「故意」に「障害」を起こすこと、つまり、設備は勝手に壊れないのです。故障は人が発生させているということです。その証拠に、故障の90%は「強制劣化」というデータがあります。この故障という変化点で労働災害は起きるのです。

AW様の「安全ビジョン」には、

「トップの率先垂範で、全ての災害は防ぐことができる」と掲げられています。

「トップ」とはもちろん社長のことですし、組織の長もトップなのです。常務、部長、課長、係

長、班長、サークルリーダー、組合委員長、評議委員さんも、すべてここで言う「トップ」なのです。

トップ自身が「絶対に災害を起こさない、起こさせない」覚悟が必要です。

「見て見ぬふりはダメ！」

みんなで注意し合い、イナテック企業理念のいき届いた、災害のない会社にしよう、ヨシ！

三七

山林是勝地、一營戀、便成市朝。書畫是雅事、一貪癡、便成商賈。蓋心無染着、欲界是仙都。心有係戀、樂境成苦海矣。

山林はもと、隠棲する地としてすぐれたところではあるが、そこに一度とりこになってしまうと、(いろいろと設備に凝り出したりして)、町なかに住むのと全く変わらなくなる。また、書画はもと、鑑賞する物としてみやびやかなことではあるが、それを一度むさぼり出すと、(掘出し物をしようなどと)、骨董屋と全く変わらなくなる。思うに、心に執着するところがなければ、この俗世間もそのまま仙郷となるが、心に愛着するものがあると、安樂郷もたちまち苦海となる。

